

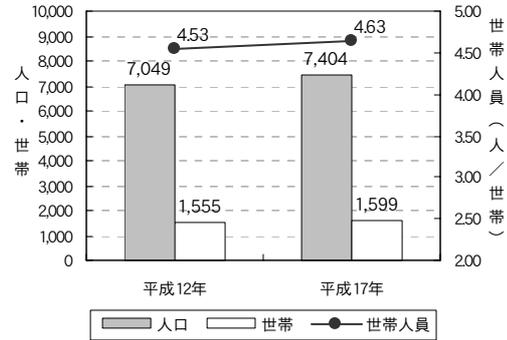
5 - 8 川西地域

(1) 地域の概要

《位置図》



《人口・世帯数の動向》



1) 人口・世帯数 (国勢調査より)

市全体の9.4%の市民が居住し、世帯数は全体の6.0%を占めています。人口は大きく増加しており、世帯数も増加となっています。

また、他地域では減少している世帯人員についても増加しており、4.6人/世帯と高い値を示しています。

2) 土地利用

都市計画区域外の地域で、平坦な土地に農地と平地林が広がり、米作のほか果樹栽培が多く行われている田園地域となっています。地域東部に流れる那珂川沿いが、八溝県立自然公園に指定されるなど、良好な自然環境を有した地域です。

地域南部の那珂川沿いや旧東野駅前を中心として、店舗等が立地する地域の拠点市街地が形成されており、歴史的な街並みが形成されています。

また、地域内に4つの農工団地が点在するなど、産業基盤の充実も図られています。

3) 交通

那珂川沿いに国道294号、主要地方道黒磯黒羽線、南北に那須塩原駅までのアクセス道となる県道東小屋黒羽線、東西に大田原地区とつながる国道461号、県道中田原寒井線が整備されています。

国道294号稲沢寒井バイパスの整備により、那須町、福島県方面へのアクセスが改善されました。また、市道西崖線の高岩大橋の開通により、通勤・通学等の渋滞緩和が図られました。

現在は、国道461号那珂橋の老朽化によりバイパスの計画が進められており、完成すれば通勤・通学等の更なる渋滞緩和が見込まれます。

4) 拠点施設等

生活拠点として旧東野駅前を中心とした商業施設、那珂川河川公園、川西堂川公園、川西高齢者ほほえみセンターが整備されています。

また、産業拠点として五輪平、大野室、高蔵、古久根前の4つの農工団地とくらしの館が整備されています。

市街地には国登録有形文化財建造物の足利銀行黒羽支店、堂川プロムナードなど歴史的な街並みが残されており、観光拠点として黒羽観光やな、寒井観光余一やな、白旗城跡、芭蕉ゆかりの鹿子畑翠桃邸跡なども整備されています。

国の施設として黒羽刑務所が立地しています。

5) 日常の生活圏 (平成 19 年度市民意識調査より)

アンケート結果では、日々の買い物によく行く場所が「幹線道路沿いの大型店」25.4%、「市中心部の大型店」19.7%となっています。

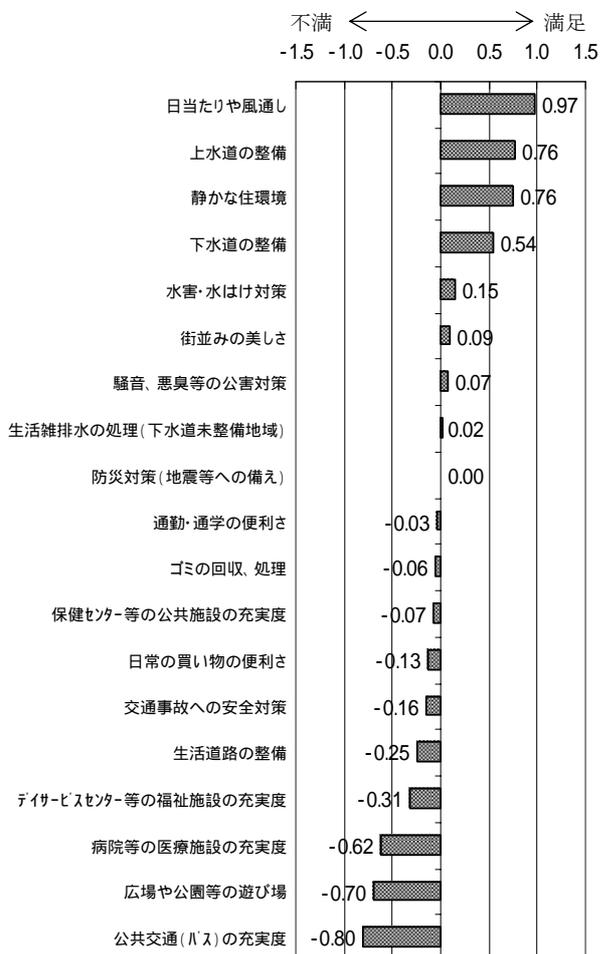
半数以上の住民が地域から離れた大田原地域を生活拠点の場としていますが、「その他市内の小売店」と回答した住民も23.9%いることから、他地域と比べて、地域内の商店が充実している様子が伺えます。

6) 各施策の満足度・重要度 (平成 19 年度市民意識調査より)

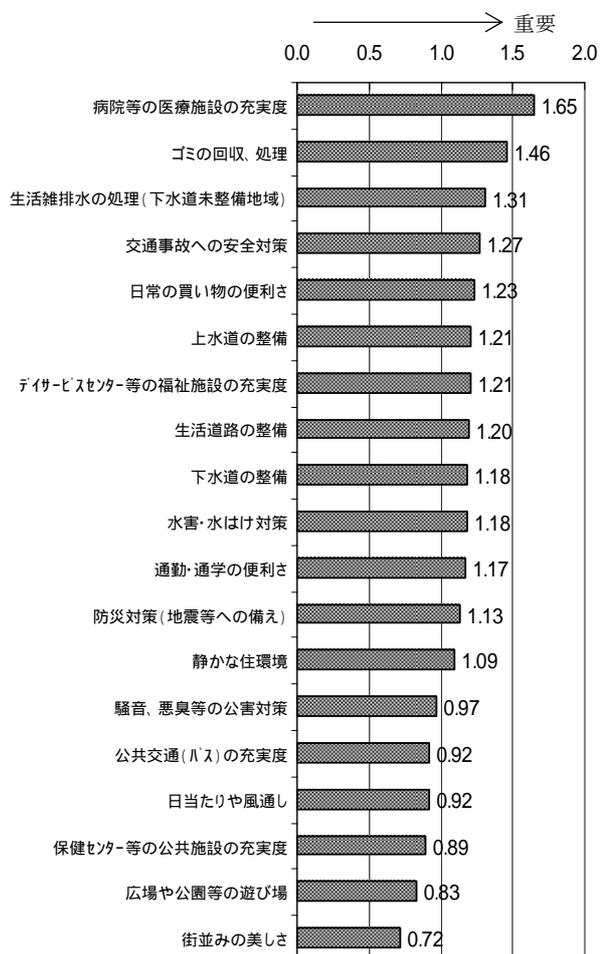
川西地域では「日当たりや風通し」の満足度が最も高く、次いで「上水道の整備」「静かな住環境」となっています。反対に最も満足度が低い項目は「公共交通(バス)の充実度」で、次いで「広場や公園等の遊び場」「病院等の医療施設の充実度」となっています。

重要度が最も高い項目は、満足度の低い「病院等の医療施設の充実度」で、次いで「ゴミの回収、処理」「生活雑排水の処理(下水道未整備地域)」となっています。

満足度



重要度



7) 市民意向のポイント (市民意識調査の結果及び地域別説明会の意見を集約)

- 自然環境の保全・管理
- 通学路の歩道整備
- 下水道の整備
- 水害等の防災対策の充実
- 新たな企業の誘致による地域の活性化
- 子どもや高齢者が遊べる公園・広場の整備
- 市営バスをはじめとする公共交通の充実
- 市街地への商業施設の誘導による生活利便性の高いまちづくり



《川西地域の市街地》

(2) まちづくりの目標

《将来像》

田園・産業・歴史が調和した住みよいまち 川西地域

- ◎ 生活利便性の向上に資する秩序ある市街地の形成
- ◎ 田園空間と調和した快適な居住環境の形成

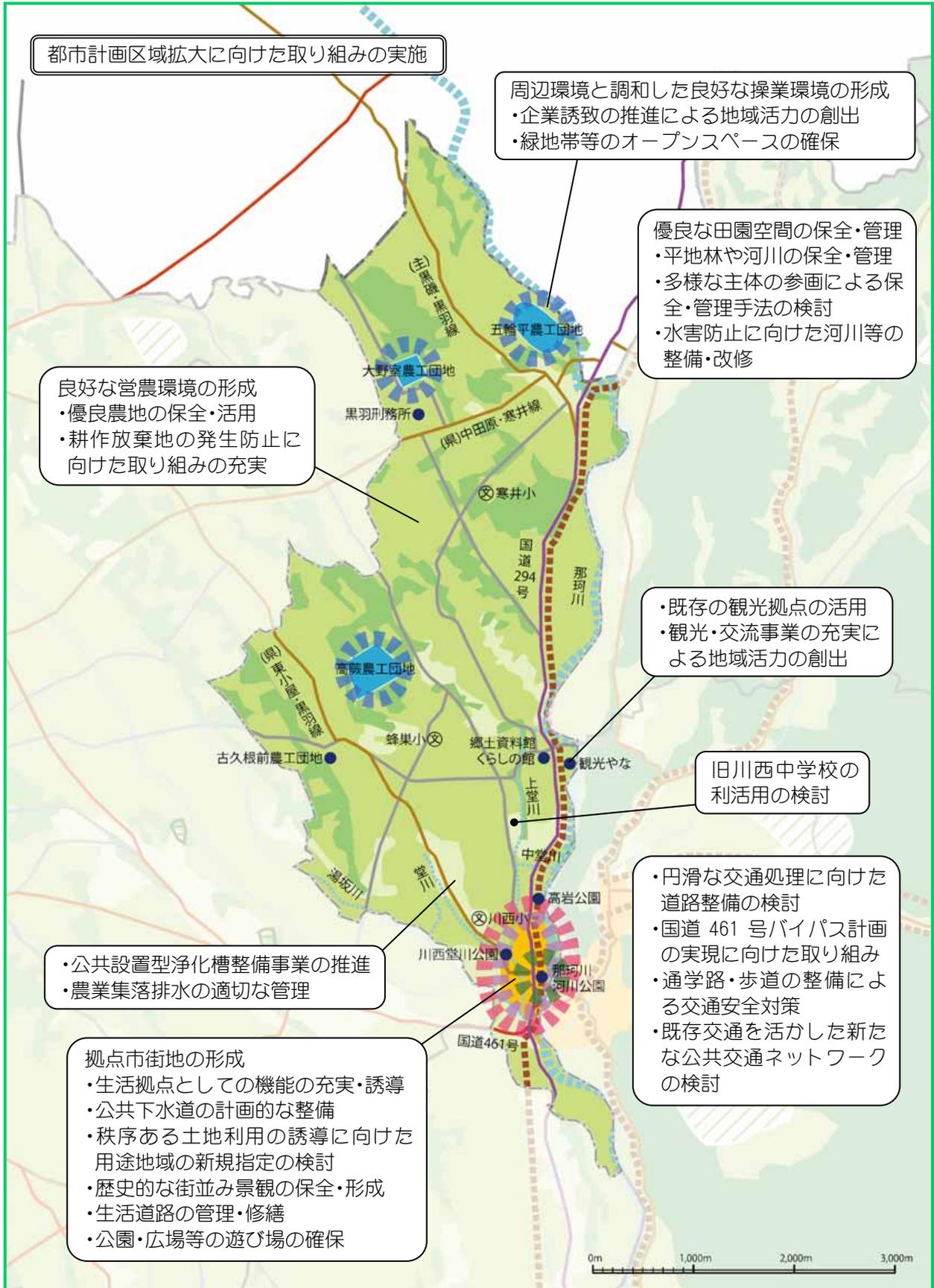
(3) まちづくりの方針

- ◇ 都市計画区域の拡大に向けた取り組みの推進 (県への働きかけ、住民への説明・周知等)
- ◇ 地域の中心部である黒羽向町・大豆田地区における生活拠点機能の充実・誘導
- ◇ 地域拠点として秩序ある市街地の形成に向けた黒羽向町・大豆田地区における用途地域の新規指定の検討 (沿道地域：商業系地域、住宅地：住居系地域を想定)
- ◇ 無秩序な都市的土地利用の拡大防止に向けた特定用途制限地域の指定の検討
- ◇ 既存農工団地への企業誘致の推進
- ◇ 公共下水道の計画的な整備及び公共設置型浄化槽整備事業の推進
- ◇ 農業集落排水の適切な管理
- ◇ 快適な居住環境の形成に向けた生活道路及び公園の整備の推進
- ◇ 自然環境と調和したゆとりある住宅地の形成に向けた最低敷地面積等の設定の検討
- ◇ 歴史・文化施設、やななどを活用した交流拠点の形成
- ◇ 多様な主体の参画・連携による農地や平地林などの豊かな自然環境の保全・管理
- ◇ 優良農地の保全・活用及び耕作放棄地の発生防止に向けた取り組みの推進
- ◇ 景観地区等の指定による川西地区の歴史的な街並み景観の保全の検討
- ◇ 歩道整備による安全・安心な歩行空間の確保
- ◇ 水害の防止に向けた河川・水路の整備・改修の推進
- ◇ バス・タクシー等の既存交通の連携による公共交通ネットワークの充実
- ◇ 中学校の統合に伴う旧川西中学校の利活用に向けた検討



《那珂川のやな》

《川西地域 構想図》



商業業務系市街地ゾーン	農業振興ゾーン	都市拠点	3環状8放射道路
複合系市街地ゾーン	緑地保全ゾーン	地域拠点	広域幹線道路
住居系市街地ゾーン	自然環境保全ゾーン	歴史と文化の拠点	都市幹線道路
工業ゾーン	都市公園	水と緑の拠点	地域幹線道路
新市街地誘導ゾーン	自然環境保全地域等	その他の拠点	八溝県立自然公園
集落ゾーン	ゴルフ場	河川	国有林